



学校だより

日野南小学校ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/hinominami/>

令和4年11月30日

12月号

横浜市立日野南小学校

日野南小学校の二大行事について

校長 川田 由紀

いつの間にか季節は冬へと移り、西の窓から見える富士山は、すっかり雪景色となっています。

先日は運動会アンケートへのご協力をありがとうございました。応援し合う姿など、学年を超えた心のつながりに感動した等の感想をお寄せいただき、教職員一同、励まされました。また、日野南小学校の子どもたちにとって、より良い運動会とはどういうものかを考えるきっかけとなりました。



ここ3年間はコロナ禍で、感染予防を最優先に考えたプログラムとなりました。そこで、来年度に向け、引き続きコロナ禍である可能性を考えつつも、日野南小学校の子どもたちに、運動会を通してどんな力を身に付けていきたいのかという点で、改めて話し合いをしました。

最近の運動会は、大きく二分されています。一つは、従来通り紅白に分かれ点数を競う運動会です。もう一つは、体育の授業の発表会のような、スポーツフェスティバルです。どちらとも、「全力を尽くす」「みんなで協力し合う」「体を動かす楽しみを感じる」などは共通したためです。大きく違うのは、勝ち負けをはっきりさせるかどうかというところです。しかも団体での勝ち負けとなると、個人がどんなに頑張っても、声を枯らして応援しても、負けるということがあります。負けたチームはかなり悔しい思いをします。しかしそこから、勝ったチームを称えたり、次こそ頑張ろうと思ったりするなど、気持ちを立て直していくことを学ぶ機会となります。勝ったチームは、努力の末に勝ち取る喜びを知り、次も頑張ろうという気持ちや、負けたチームの存在にも心を寄せて、労う気持ちをもつことを学ぶ機会となります。

日野南小学校の子どもたちには、どちらのタイプの運動会が必要なのか、熱い議論が教職員で交わされました。その結果一致した意見は、日野南小学校の子どもたちには、勝敗を受け留め、それを前向きに次へ生かしていこうとする力こそ身に付けさせていきたいということでした。悔しさから学ぶこと、嬉しさから学ぶこと、どちらにせよ、一生懸命に行った先には、勝敗を超えた喜びと得るものがあると確信します。そんな運動会になるよう、工夫を重ねていきたいと思えます。

12月3日(土)には、日野南小学校のもう一つのメイン行事である「日野南フェスティバル」が行われます。生活科や総合的な学習を中心とした、これまで学習してきたものの中から子どもたちが発信したい内容を精選し、より伝わる方法を考えて発表します。子どもたちの主体的に取り組む姿をご参観いただき、ご感想をお寄せいただけたら幸いです。